

2024年3月発行

# 防火作文集

2023年度

全国統一防火標語

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」



防火作文は、火災予防啓発の一環として、伊万里市内の小学4年生を対象に募集し、11校から児童351名の応募がありました。この作文集はその作品の中から選出された入賞作品18点(最優秀賞1点・優秀賞5点・優良賞12点)を掲載し、伊万里市内の各小学校へ配布しています。

今後も、小学4年生を対象に募集しますので、たくさんのご応募お待ちしております。

伊万里・有田地区幼少年女性防火委員会 / 伊万里市防火協会

# 目次

### 【最優秀賞】

・自分でできる事は

### 【優秀賞】

・火事のおそろしき

・「防火について」

・「自分の町は自分で守る」

・火事、油断は大敵！

・火事を起こさないように

伊万里小学校

青山楓

……  
1

伊万里小学校

木須丈治

……  
2

伊万里小学校

白川優夏

……  
3

大坪小学校

金原漣

……  
5

大坪小学校

野村日葵

……  
6

東山代小学校

松尾優那

……  
7

### 【優良賞】

・火のこわさ

・火事にならないため出来る事

・火事から命を守るためには

・火事について考える

・火の用心

・火事を防ぐために出来る事

・火事を防ぐためにできること

・火の危なさ

・火事がおこらない町にしよう

・わたしのお父さんは、消防団

・火をつかう時は大人と

・「おかあさんとのやくそく」

牧島小学校

福井唯人

……  
8

大坪小学校

太田陽人

……  
9

立花小学校

井上優

……  
10

立花小学校

渡會進次郎

……  
11

立花小学校

矢根華奈

……  
12

大川内小学校

市川紗椰

……  
13

黒川小学校

市田彩乃

……  
14

波多津小学校

光田彩乃

……  
15

松浦小学校

溝田晴登

……  
16

二里小学校

古江勇巳

……  
17

東山代小学校

樋渡莉彩

……  
18

山代西小学校

福田陽菜

……  
19



## 〔最優秀賞〕

### 自分でできる事は

伊万里小学校 青山 楓

クラスで防災について考えてみました。わたしは、これまでも、消防署に行つて話を聞いたり、授業で災害について考えたりする機会があり、そのことを思い出しながら考えをまとめたいと思います。

まずは、どうして火事になるのかを考えました。火のつけっぱなしをしたり、火から目をはなしたり、火の近くにもえやすい物をおいていてもえうつたりしたことが原因になつていくのだと思います。

では、どうやったら火事を防ぐことができるでしょうか。例えば、家を出る時やねる前には火が消えているかどうかかかしくんすることが大事だと思います。「少しの間ならいいか。」と、つい火から目をはなしてしまわないように、かならず消してからはなれるということや、火の近くに風でとんだらもえそうな物はぜつたいにおかないなど、しっかりと気をつけることも大

切です。そして、それを家族と話し合つて、ルールを作つておくといいと思いました。自分はずなないと思つていても、だれでも火事になるかのうせいはあります。なつてからではおそいで、ルールを決めてみんなを守つていくことが大切だと思ひました。

さらにわたしが考えたことは、火事になつたらどうするかということです。大人がいるときは大人の人にすぐに言つて消火器などで消すといいと思ひますが、家に一人である時もあるかもしれないません。そんな時は、近所の人に助けてもらうことを決めておいたり、消火器の場所が言えるように自分でかくにんしておいたりするなど、一人でパニックにならないように話し合つておいた方がいいと思ひました。わたしたちのまわりには、火事を引き起こすものがたくさんかくれています。火はきけんですが、使い方をまちがえなければ、安全で、生活にひつようなものです。火事にならない、命をおとさないようにするため、これからも家族や友だちと話し合つて、気をつけていきたいと思ひます。



## 〔優秀賞〕

### 火事のおそろしさ

伊万里小学校 木須 丈治

ぼくのお母さんは、消防署の事務所で働いています。お母さんはときどきぼくに、その日にあったことをくわしく教えてください。特に最近は、「冬になって火事がふえている」ということを教えてもらってぞつとしました。火事の主な原因は、コンロの消しわすれや、たばこのポイすてなど、いろいろあることを三年生の時に学習しました。これからさらに火事について考えていきたいと思います。

ぼくが火事を起こさないために気をつけていきたいことは、全部で四つあります。一つ目は、「花火は安全に注意して遊ぶ」です。夏に楽しむ花火は、火を使って遊びます。また、周りにとびちってしまうおそれもあります。だから周りにものを置かないようにして、花火の火が消えたら水を入れたバケツに入れて最後にすてます。これらのことに気をつけて、安全に楽しく遊んでいきたいです。

二つ目は、「コンロやストーブの火の消し忘れに注意する」です。コンロやストーブの火をそのままにしていると、周りの物にもえうつって大変あぶないです。特に、スプレーかんなどを近くにおいておくとぼく発するおそれがあります。だから、ふだんからコンロやストーブの周りに物を置かないようにしたいです。

三つ目は、「コンロなどの火元から絶対に目をはなさない」です。ぼくは小さい時にやけどをしたことがあります。お母さんが料理をしていてその場をはなれた時に勝手にコンロに手を出してしまったことが原因です。その時に火のこわさを感じました。これからはぼくも火元から目をはなさないようにしたいです。

四つ目は、「火遊びを絶対にしない」ということです。ぼくは火遊びなんてしないのが当たり前と思っていたけれど、三年生の時に学習した資料では、全国の火事の原因に子どもたちの火遊びがあつてびっくりしました。このようなきけんな遊びは絶対にしてはいけないと思います。もし友達や下級生がしているのを見かけたら、絶対にだめだと注意したいです。

このように、ぼくたちの身近にはたくさん火のおそろしさ



がかくれています。火はとても便利なものだけど一歩使い方をまちがえると、とてもおそろしいものになってしまいます。だからこれからは火のあつかに注意して、今回学んだことや考えたことを家族や友達にも伝えていきたいです。また毎年学校で行われているひなん訓練では、実に、火事が起きたときのことをしっかり考えて、真けんに取り組んでいきたいです。そして火を安全に使えるように注意して生活していきたいです。

## 〔優秀賞〕

### 「防火について」

伊万里小学校 白川 優夏

わたしは、「防火」について調べました。「防火」とは、火事や火災から身を守ることです。

まず、最近の火事の原因について調べました。火事の原因で最も多いのは、「たばこ」です。「たばこ」のポイ捨てによる火災は、6わり以上にもなります。その次に多いのは「たき火」です。「たき火」により、建物や林野の火災が発生しています。その次に多いのは、「こんろ」による火災です。「こんろ」が原因の火災のうち約半数が消し忘れによるものです。「自分は、分かっていいるから大丈夫。」と思っけていても火の使い方を一歩でもまちがえると「火災」につながるおそれがあります。

次に調べたのは、火事の対さくについてです。まず、一つ目はストーブの周りに洋服を置かないことです。ストーブの周りに洋服を置いているとストーブの火が洋服に、もえうつって火事になるかのうせいがあるからです。二つ目は、火を使うとき

は、火のそばからはなれないということです。火のそばからはなれてしまうと火災になるかのうせいがあるからです。三つ目は、コンセント周りのほこりのそうじです。コンセント周りのほこりがたまってると火災になるかのうせいがあるからです。四つ目は、使わないコンセントは、ぬくということです。コンセントをずっといれたままだと火災になるかのうせいがあるからです。他にも火災ほうちきのせつちです。火災ほうちきをせつちすることで夜中に火災がおきても気づくことができます。

最後に調べたのは、火災がおきたときのたいしょほうじについてです。初めにするのは、大声で周りに知らせるということです。次にすることは、119番通ほうです。その次にするのが「ひなん」です。このときにハンカチや洋服などで口と鼻をおおうとけむりをすわずにすみます。

このようにいつ火災がおきるかは、だれにも分からないので火災ほうちきをせつちしたり、日ごろから、火災にならないように、気をつけたりして生活することが大切だと思いました。わたしたちの身の周りには、火がたくさんあります。でも一歩火の使い方をまちがえてしまえば、火災につながるおそれがあります。きちんと使い方を守ると安全に楽しむこともできます。

そのためには、火から目をはなさない、ストーブの近くに洋服をおかない、コンセントのほこりをそうじするなどの注意や子どもだけで火遊びはしないことが大切です。そうすれば火事もへり安全にくらすことができます。

わたしも火事に気をつけながら生活していこうと思いました。



## 〔優秀賞〕

### 「自分の町は自分で守る」

大坪小学校 金原 滯

私はいつものように正月をすごしていると、とつぜんニュースで石川県でしん度七の、のと半島地しんがあつていていることを聞いて、ビックリしました。さらに何時間かしてテレビを見ると、火事があつていことが分かりました。「メラメラ」と火が音を立てて、いきおいよくもえる様子に、とてもこわくなりました。そして、お正月から家がこわれていたり、いつものようにごはんを食べたりゆつくりできないので、大変だなと思ひました。

私がいつも安心してすごせるのは、大坪町の人々が毎日見守つてくれているおかげなんだと分かりました。もし、大坪町で災害が起きてても、ひなん所に行けば食料があつたり、いろいろなじゅんびがしてあります。さらに消防団の人は、自分の仕事の他に消防のお手伝いもしていると私は知りました。「ウウウウウウカンカン」とサイレンを鳴らしながら、大坪町を見守つて

くれています。

家での火事の原いんになるのは、まずコンロです。火をずつとつけたままにしておく、もえうつることがあります。使わない時は、すぐに火を消すようにします。

次に、火にもえやすい物を近づけないことです。学校で火を使う時には、教科書やノートを近くに置かないようにします。そして、もし火が付いた時のために、ぬれたぞうきんを、近くに置くようにしています。

身の回りにも、火事になる原いんになる物はたくさんあります。まずは自分の回りから、少しでも火事にならないように、気を付けていきます。大坪町の人々や消防団の方々が、暑い日も寒い日も地いきを見守つて活動されているのにも、感しやを伝えていきます。そして、「自分の町は自分で守る」という気持ちで、日ごろから一人一人が考えていけば、火事も少なくなつていくと思います。



## 〔優秀賞〕

# 火事、油断は大敵！

大坪小学校 野村 日葵

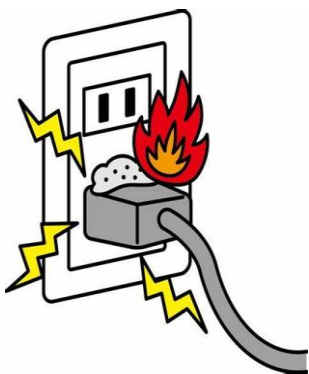
「オール電化の家って火事とは無縁じゃない？」

私の家はオール電化なので、一般的に火事が発生するリスクが少ないと言われています。例えば、キッチンがIHクッキングヒーターなので調理する時に火を使いません。また、長時間同じ温度でつけっぱなしになっていると、自動停止するようになっているので、消しわすれで火事になるリスクが低いです。調理する時に母が気をつけていることは、あげ物をする時にその場をはなれないことだそうです。油の温度が上がると火が無くても発火する可能性があるからだそうです。その他に家で気をつけていることと言えば、冬になると使用するファンヒーターです。もえる物を近くに置かない事と、寒いからとファンヒーターに近づきすぎない事くらいです。

そこで、他に火事が発生する原因を調べてみました。その原因の一つに「トラッキング現象」がありました。トラッキング

現象とは、コンセントとプラグのすき間にホコリがたまり、そのホコリが空気中のしつ気を吸収することで、ろう電し発火する現象で、電気せい品を使用していなくても、電源がオフであっても、コンセントにプラグがささっているだけで発生してしまい、火災に発てんするそうです。とてもおそろしいと思いました。家のコンセントを見ると、テレビボードのうらのコンセントにはテレビの線がささったままだし見えにくい場所なのでホコリがたまっていました。洗たく機のプラグもホコリだらけでした。年末の大そうじで私はそういった場所のホコリのふき取りをしました。

火事は、火が出ている所だけで発生するわけではないことが分かったし、火が出ている場所から発火することの方がこわいなと思いました。ふだんからコンセントのホコリにも気をつけてそうじしたいです。





## 〔優秀賞〕

### 火事を起こさないように

東山代小学校 松尾 優那

わたしは、保育園の年長のころに、初めて「火災」「火事」という言葉と、そのおそろしさを知りました。それは、自分の家が火事になったとか、身近なところで火事が起きたとかいうわけではありません。テレビのニュースで火事の場面が流れているのを見て、おそろしい！と感じたのです。火事が起きたら、大事な物が燃えてしまう、大切な命も無くなってしまうと強く感じたのを覚えています。

小学生になってからは、学校で行われる火災ひなん訓練に参加し、「おかしも」や「おすしも」などを習いました。火事を見つけたら、大人に知らせること、子どもだけで消そうとしないこと、安全な場所に行けることなどを学びました。このことから、もし自分の家で火事が起きたら、どうするかを考えてみました。もし、火事が起きてしまったら家族に知らせる、一一九番に電話をするを思いつきました。でも、これだけでほんとう

に大丈夫かなあと心配になりました。

三年生のある日、お父さんが丸くて白い物を天じょうに取り付けました。

「あれはなに？」とたずねると、「火災ほう知器だよ。」と言いました。火事が起きたらサイレンで教えてくれると聞いて、私はとっても安心しました。

四年生になって考えたことは、火事が起きてからのことも大切だけど、火事を起こさないようにすることが先だということです。

火遊びをしないはもちろんですが、花火をしたり、蚊取り線香を付けたたり、料理をしたりなど、火を使う時や使った後は火災につながるないようにすることが大切だと思います。

この前の理科の時間、マッチを初めて使った時に、静かに燃えるマッチの炎を見ながら（こんなかわいい火が、おそろしい大きな火事につながるようにしないといけないな）と心の中で強く思いました。



## 〔優良賞〕

### 火のこわさ

牧島小学校 福井 唯人

僕は家に、大切なものがたくさんあります。テレビやヘッドフォンやスイッチや、携帯など無くなってしまったらとてもこまってしまいます。そこで火事で大切なものがなくならないために火事を予防する方法をたくさん調べました。

ストーブの周りに燃えやすいものを置かないこと、コンセントはほこり掃除をし、 unnecessary プラグは抜くことが分かりました。どれも、僕ができそうなことです。できることからやりたいたいと思います。

他にも、僕は花火をすることがあります。火の粉が服に燃え移らないように花火の向きを気をつけたり、バケツに水を入れて使い終わった花火を入れたりしています。花火も楽しいけれど、遊び方を間違えたら火事の元です。正しく使って、楽しく遊んでいきたいです。

理科の実験で、火を使うことがあります。実験用具や火の使

い方を間違えると、周りの友達にけがをさせるかもしれません。やり方をまちがえると危険です。しっかりと学習するためにも先生の話をよく聞いて、安全に実験したいです。

僕は家でたまに料理をします。火の使い方気を付けています。家を火から守るために、これからも火の使い方気を付けていきます。そして、火の用心をいしきして、僕に出来ることをしっかりとしていきたいです。

このように調べたことで、僕にもできそうなことがたくさんわかりました。大切なものをなくさないために頑張っていきたいです。



## 〔優良賞〕

### 火事にならないため出来る事

大坪小学校 太田 陽人

「あのお店がもえているよ。」

とつぜんお母さんがそう言いました。ぼくは、ちようどかみを切ってもらってお店から出てきた時でした。お店のそこから、すごい黒いけむりが立ち上がってもくもくと出ていました。なんとお店から火が出てきたのです。ぼくは、小さな火から一気に全てをやきつくすという事を知っていましたが、まさかこんなにもおそろしいとは思いませんでした。大きい建物をすぐやきつくしてしまつてぼくも、火事に気付けなといけないなあと身にしみました。

学校では毎年ひなん訓練を行っています。ひなん訓練は学校内で火事になった時どこに逃げればいかや、火事になったらハンカチで口をおおうなど火事になった時にどう対おうすればいいかを学びます。理科などでも、火を使う実験では、最初に先生が火に気を付けるよう火がつかないようガスコンロなど火

が出る事がある物には注意するよう話したりします。ぼくも家でガスコンロをあつかう時は、火事に注意してあつかいたいなあと思いました。

ぼくの家では、キッチンなどで何かを焼いている時、その物を焼くのが終わると時々ぼくもお母さんに、「キッチンの火を消して」と言われる事があります。家でも火事が起きる事は多いから気を付けなといけないなあと思いました。

ぼくの家の周りでも、冬は消ぼう車が火事が起きていないか見回っています。ぼくは冬は火事がとても多いんだなあと感じました。

ぼくは前までは火事はあまり考えていた事も考えると火事は「ゴオー」ともえて黒いけむりなどでとても大きな建物をすぐに焼きつくすとてもこわい事だと思いました。ぼくも火事に気を付けるために注意しないとだめだなあと思いました。



## 〔優良賞〕

### 火事から命を守るためには

立花小学校 井上 優

みなさんは、火事が起きた所を見たことがありますか。わたしは見たことがありません。わたしの中では、一週間に1回くらいはニュースで、「〇〇県〇〇市で、火事が発せいしました。」と、流れていて、火事についてはくわしく知りませんでした。ですが、学校のとあるじゅ業で、わたしの頭の中の火事のイメージは、あつというまに変わりました。

まず、火事はめったに起こらないものだと思っている人がいるかもしれませんが。しかし、火事は身近なことで起こります。火事が起きたなかでは、たばこやたきび、コンロなどが主な出火原因です。他にも、放火などだれかのしわざで起こる火事もあり、火事は色々な原因で起きています。

次に、火事はいつ起きるか分かりません。なので、ふだんからの意識しきや、火事についての本や動画を見て学んだり、防災訓練をより多くしたりして、少しでも火事について知っておく

と、火事が起きた時に、自分の身を守ることができます。

最後に、火を使うときは、大人の人といっしょに使ったり、近くにいる所で使います。もし火事が起きたら、建物の中から、すばやく出たり、洋服やハンカチで、けむりをすわらないように口や鼻をおさえて、火事から自分の身を守ります。

わたしは、火のこわさや、火事にあつたらどうすればいいかなど、いろんなことを学べたのでこれからは、おじいちゃんやおばあちゃんにも注意をよびかけて、いろんな人に火事のことを知ってもらいたいと思います。



## 〔優良賞〕

### 火事について考える

立花小学校 渡會 進次郎

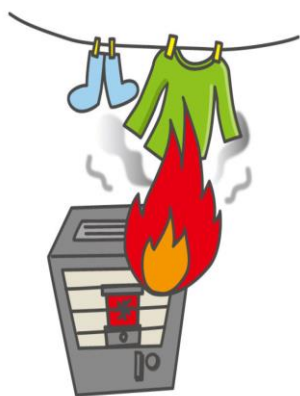
ぼくは、こわがりな性格なので、テレビで火事のニュースを見ると、なぜその火事が起きたのか、もし自分の家で火事が起きたらどうしようとか考えてしまいます。だから、この機会に、火事の原因について調べてみることにしました。

「令和四年版消防白書」によれば、火災原因一位がたばこ、二位がたき火、三位がこんろとなっていました。この三つは、ぼくにはあまり関係がないような気がします。でも、五位の電気機器と十位のストーブは関係ありそうです。電気関連で起こる火災は、トラッキング現象やショートによるものが大半だそうです。トラッキング現象については、以前テレビで見た事があったので、ぼくは日ごろから家族の中で一番注意していると思います。ぼくはねる前には、使っていないコンセントは、全部ぬいていきます。そうする事で、たこ足配線をさけたり、つなぎっぱなしのコンセントにほこりがたまるのを防ぐ事ができ

ると思います。

ストーブでは、数日前にあぶないことがありました。いつもストーブのまわりには、もえやすい物などおかないように気をつけています。でも、その日は、お母さんが食たくのいすに買い物ぶくろを引っかけていました。そして、いすにすわっていたお兄ちゃんが立ちあがる時に、いすをストーブの近くまで引いたまま部屋をでていったのです。しばらくして、こげくさいにおいがして、買い物ぶくろがこげていることに気づいてあわてました。いつも気をつけているのに、こんなささいな事から火事につながると思うとぞつとしました。

これからも火事にならないように気をつける事と、万が一火事になった時どうすればよいかということも日ごろから考えておきたいと思いました。



## 〔優良賞〕

### 火の用心

立花小学校 矢根 華奈

私の家の近くに消ぼうしよがあります。風といっしょに出動の音が聞こえてきます。そしてすぐに消ぼうし車のサイレンの音が聞こえます。そのたびだいじょうぶかなあ、とか、どこの火事かなあとかこわいなあと思います。

火事のげん場を、目の前で見たことは、ありません。ニュースで見るだけでもとてもこわいのに消ぼうしさんはとてもすごいなあと思います。

火事は、一びょうでも早く消さなければなりません。そして、人の命も助けなければなりません。そんなじょうきょうの中で、がんばっている消ぼうしさんの命がきけんになっても、町を守る消ぼうしさんがいるから、私たちはこうやって安全にくらせているんだなと思いました。このことをおもうと自分たちでも何か火事をなくすためにできることはあるのかなと考えてみました。火事は、冬がとて多いことがわかりました。それは、

さむくなるとストーブを使う家が多いからです。そして、冬は空気がかんそうしているからちよつとした火の気でも大きな火事につながるということがわかりました。私の家もストーブをつけます。自分の家でも気をつけることを考えてみたら、ストーブの近くにもえやすいものをおかない。ストーブをこまめにチェックする。ということを守っていこうと思いました。「火の用心」は一人一人、みんなのテーマとして、火事が少なくなることをねがっています。



## 〔優良賞〕

### 火事を防ぐために出来る事

大川内小学校 市川 紗椰

わたしは、火事を経験したことはありません。なので、家族に火事の経験があるのか、聞いてみました。

おばあちゃんは、十五年くらい前に近所で火事があったのを見たことがあるそうです。火事の原因は、たばこの火の消し忘れでした。

日本での火事の原因について調べると、一位たばこ、二位たき火、三位コンロ、四位放火でした。家では、たばこをすう人はいないけど、おばあちゃんがよくコンロの火を消し忘れるので、声かけや消し忘れていないか、かくにんしてあげたいです。お母さんの経験では、アロマオイルをたいていた時に、キャンドルが燃えてドキッとしたことが二回くらいあるそうです。原因は分からなかったみたいです。すぐにぬれたタオルをかぶせたので火事にはならなかったと言っていました。「火を使う時はぜひ対に目を離さないでね。」といつもお母さんが言います。



火災を防ぐためのポイントを家族で考えました。一つ目は、家のまわりに燃えやすい物を置かない。それは、放火を防ぐためです。二つ目は、火がついている物から離れる時は必ず火を消す。三つ目は、配線まわりをきれいにしておく。配線にほこりがたまってしまったら、引火して火事になるからです。火事は一瞬にして大事な命や住んでいる家とかを失くしてしまいます。

ちよつとの不注意で火事がおこります。これからの生活の中で、わたしの出来ることを考え、行動したいと思います。

## 〔優良賞〕

### 火事を防ぐためにできること

黒川小学校 光田 彩乃

「ウー、ウー、ウー、」

という消防車のサイレンが聞こえると、どこで火事だろう、私の家は大丈夫かなと心配になり、落ち着かなくてそわそわします。

テレビで家やビルなどの火災のニュースを見るとこわくてたまりません。火災は人の命や建物やお金など大切なものを一しゆんにしてうばってしまいます。

そこで、火災の原因を調べてみると、たばこによる出火が一番多く、次にたき火、コンロ、放火、電気機器の順になっていて、火の不始末といった人の不注意や悪しつないたずらなどによって起きることが分かりました。火災をへらすためには、火の始末をきちんとすることや、放火などのいたずらをしないようにすることが大事だと思います。

新聞に消防団の活動がようかいされています。消防団は

火災時の消火活動や災害時の住民のひなんゆうどうなど、住民の命や財産を守るため、さまざまな訓練や活動に取り組んでいるそうです。

私の父も、黒川町の消防団に入って火災予防活動をしています。夜八時ごろ、消防車に乗って、「カンカン、カンカン。」とかねを鳴らしながら、町内を回って火事に気をつけるよびかけをしています。

また、いざという時のために、ホースから水を出して消火する訓練もしているそうです。

このような消防団の活動が私たちの生活を支えてくれていると思います。

私は、家で自分が火事を防ぐためにできることを考えてみました。IHやアイロンを使ったあとは、スイッチを必ず切って、出かける時は、かくにんするようにします。石油ストーブのそばでは、せんとく物をかわかしたり、妹や弟があべれたりしないように注意します。

家が火事になると全てなくなるので、家族全員で火事にならないようにしたいです。



## 〔優良賞〕

### 火の危なさ

波多津小学校 浦田 晴登

ぼくは火事はとても危ない大変なことだと思います。理由は、火事には、二つ危ないことがあって火を消すのにかなり時間がかかってしまうと聞いたことがあるからです。

危ないことは、一番に、二酸化炭素中毒、二番目は、火傷と  
思います。

でも、火事が起きる原因はほとんどが人の不注意や放火、花  
火、乾燥、自然発火などが原因で火事、火災などが起きると思  
います。

今までぼくは、ひなん訓練や、子供だけで火を使わないよう  
に気をつける、というようにいろんな火に関係することに気を  
つけてきました。他にも火の危なさや、どんなことが具体的に  
危ないのか聞いてきました。煙は上へのぼっていく、お・か・  
し・もなどひなんするときの姿勢や、火の基本的な動き、煙の  
基本的な動き、出入口の場所をおぼえる、消火器の場所、使い

方、などのことを保育園、学校の先生、親に教わってきました。

次にぼくが火事をおこさないためにできることをいくつか挙  
げていきます。まず簡単なコンセント周辺のそうじ、ガスコン  
ロの火消し、ガス抜きなどをやっていかばいいと思っています。

ぼくは、これから大人になっていくなかで火事に対してでき  
ることも増えていくと思います。もう少し大変なことをでき  
ようになるかもしれないのもっと大きくなったら、どんどん  
難しい火災予防をしていこうと思いました。



## 〔優良賞〕

### 火事がおこらない町にしよう

松浦小学校 溝江 勇巳

ぼくのお父さんは、松浦分団の消防団員です。平成24年に消防団員に入団して13年目になるそうです。ぼくが生まれる前です。消防団の仕事は、火事の際に消火活動を行うことです。

家庭で多い火事の原因を調べてみました。一位がたき火、二位がたばこ、三位コンロ、四位は火入れ、五位放火でした。まず一位のたき火は、火をつけた人が最後まで火が消えたのをたしかめる事が大事だと思います。第二位のたばこは、きんえんブームの中たばこに火をつける以上は最後までせきにんをもってもらいたいと思いました。第三位のコンロは、オール電化になっている家庭が多い中、ガスコンロを使う家庭の人は消しやすれに注意してもらいたいと思います。各家庭には、消火器がせっ置きしてあると思います。再度使い方をかくにんして火事がおこらないように心がける事が大事だと思います。

その他の消防団の活動としても命をかけた仕事をしています。

大雨や洪水、台風や地しんで行方不明になった人たちのそうさくやきゆう助をしたりしています。災害がない時でも8月には夏季訓練やポンプそう法、11月には放水訓練、12月には年末けいかいをして一年の無事をいのります。

このようにぼくは、お父さんと防火の事についていろんな話をしました。地域の人たちのために働いている事とても感じやし、そんけいしています。ぼくも大きくなったら消防団に入つて火事や他の災害がない住みやすい町になるようにがんばりたいと思いました。



## 〔優良賞〕

### わたしのお父さんは、消防団

二里小学校 古賀 莉彩

わたしのお父さんは、地いきの消防団に入っています。消防団の仕事は、毎週1日と15日にたん当地区の見回りと、近くで火災がおこったときに出動します。

わたしが、一番心にのこっているのは、今年の5月4日近くのダイレックスの火災です。お父さんは、朝早くおきて火を消す手伝いに行きました。わたしの家からでも見えるくらいに真っ黒なけむりとこげたにおいがしました。お母さんと弟と3人で近くを通ったときもまだけむりがでていて、お父さんのことがとても心配になりました。火災のときにお父さんの仕事は、自分の分団のせきさい車をだし、消火にあたったり、火災の近くを通る交通せいり、火は消えたけれどまだ火が出ないか待きしていたそうです。お父さんは、部長ということもあり消防団員の食事のお世話などもしたそうです。一番大変になったことは、火が消えたあとも、また火がでないか待きするのが大変だ

と思いました。わたしは初めて火事が身近でおこり、お父さんのように地いきの消防団がいるおかげで安全が守られているんだなと思いました。火事のこわさで知りわたしにできることは、何か考えていきたいなと思いました。



## 〔優良賞〕

### 火をつかう時は大人と

東山代小学校 樋渡 莉衣

わたしは、火事のことをとてもこわいと、思っています。火事になる原因はたくさんあります。たとえば、コンロです。コンロは、料理につかわれる、とてもべんりな物です。でも、つかい方をまちがえれば火事になるかもしれません。周りにも使いやすい物をおかない、火から目をはなさないです。

ほかにも火事の原因になる物は、まだまだあります。大人でも楽しめる花火です。花火は、キレイでついしたくなる遊びですが、一歩まちがえると、あぶない遊びになります。だから人にむけないこと、花火がおわったらつってそのへんにすてないこと、花火がおわったら水にいれます。

わたしは、やけどをしたことがないです。だからこそ、たいさくをしないとダメです。わたしは、火事にならないたいさくを三つ考えました。

一つ目はきほんのことですが、火をつかう時は、目をはなさ

ない、目をはなす時は、火をけしてからいきます。

二つ目は火をつかう時は、大人の人とやります。料理や花火の時です。一人でできるからと言って一人でしては、いけません。火事になるかもしれません。

三つ目はストーブです。ストーブは、コンロと同じで近くにもえやすい物をおいては、いけないです。

このように、火事になる原因はたくさんあります。目をはなしたすきに火がもえうつったり、子供たちだけで遊んだりしないようにしていきたいです。



## 〔優良賞〕

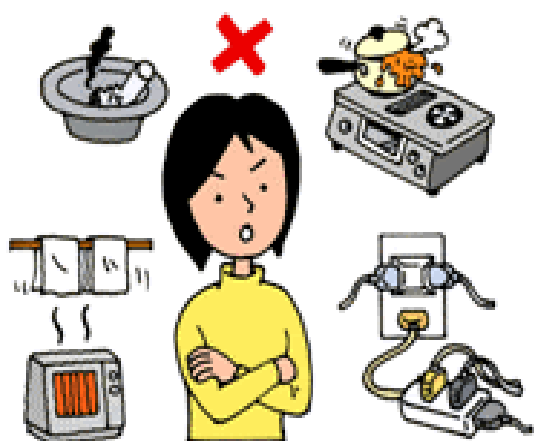
### 「おかあさんとのやくそく」

山代西小学校 福田 陽菜

火事はあぶないです。私の大切なものや家をもえてしまいます。そんな大切なものを守るために、私はお母さんと2つのやくそくをしました。

一つ目は、「二人で火をかってにつかわない」というやくそくをしています。一人で火をかってに使ったら、とてもあぶないからです。二つ目は、「コンセントは使ったらぬく」というやくそくをしています。なぜなら、コンセントは火事のもとになることがとても多いからです。また、「ライターなどの火を起こすものを使わない」「火の近くにもえそうなものをおかない」ことなど、他にも火事を起こさないために守らなくてはいけないことはたくさんあると思います。

火事を起こさないように気をつけることはもちろん大切です。が、それでも、もしかしたら火事は起こってしまうかもしれません。なので、万が一火事になってしまってもあわてなくていいように、準備しておくことも大事です。私は消火器を家においておくことが必要だと思っています。私の家には、消火器はないので、一度お母さんと話し合ってみたいと考えています。



みんなにめいわくがかからないように、みんなが平和で幸せにくらせるように、私はお母さんとのやくそくをしっかりと守りたいと思っています。それから、自分でも考えて、火事になりそうだなということはぜったいにしないようにしようと思っています。

## 令和5年度防火ポスターコンクール



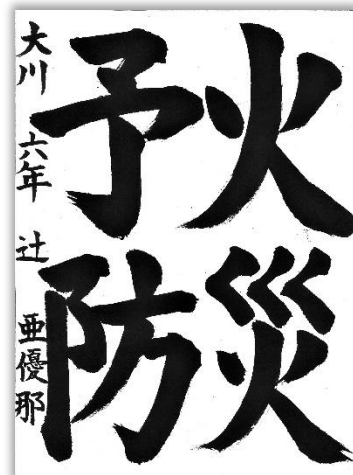
伊万里市内の小中学生を対象に火災予防ポスターの図案を募集して防火ポスターコンクールを行いました。小学生 54 点、中学生 10 点の計 64 点の応募があり、最優秀賞に選ばれた作品はポスターにして、伊万里市内の学校や事業所等に配布し掲示してもらいました。



最優秀 大坪小6年 中島 南さん

## 令和5年度少年消防防火書道大会

伊万里市内の小学6年生児童を対象に火災予防思想の普及等を目的とした防火書道大会を行いました。「火の用心」、「火災予防」、「防火の輪」の3つの課題のうちから1つを選んで提出してもらい、今年度は13小学校463点の応募がありました。



最優秀 大川小6年 辻 亜優奈さん

## 令和5年度少年消防クラブ野球大会



優勝：立花少年野球少年消防クラブ

## 令和5年度出前消防スケッチ



最優秀 黒川小2年 中嶋 凌花さん

主催：伊万里・有田地区幼少年女性防火委員会

協賛：伊万里市防火協会

編集：伊万里・有田消防組合 伊万里消防署 消防3課 予防係

【問い合わせ】

伊万里・有田消防組合

伊万里消防署 消防3課 予防係

〒848-0027

伊万里市立花町1355-3